

令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（34） 学校名 豊田市立豊松小学校

- 1 テーマ 自然と歴史いっぱい 野鳥いっぱい 豊松小
～ 自然に親しみ、学び、働きかける子どもの育成 ～

2 ねらい

- 学校を取り巻く豊かな自然環境と長い歴史を生かした活動を進める。
 - ・野鳥に親しみ、学び、豊かな自然に進んで働きかける子どもを育てる。
 - ・校区の自然や歴史を訪ねて歩く「六所の集い」を実践し、地域を愛する心を育てる。
 - ・地域講師による「ササユリについての学習会」や「松平の歴史を知る学習会」などを通して、地域のよさを学ぶ姿勢を育てる。
- 恵まれた自然環境を生かすために、校地内の環境整備を進める。
 - ・学校畑の整備活用、ササユリの保護、樹木の剪定や伐採、施肥などを進める。
 - ・校内整備には、時間と手間がかかるので、担当教員が児童・教員の指導・助言に時間をかけられるよう校内整備員の力を借りて、作業を進めていく。
- 全校児童36名という少人数のよさを生かした活動を進める。
 - ・縦割り活動を軸とした温かい人間関係づくりに努める。
 - ・子ども一人一人を支援し、心に不安を抱えている子どもへの相談活動を行うために、心の相談員を配置する

3 活動内容

- 自然環境を生かした活動の推進
 - ・愛鳥活動…野鳥の観察と学習
 - ・みどりの少年団活動の推進…自然愛護・自然体験活動
- 生活科・総合的な学習の時間を通して学ぶ自然と関わる学習
 - ・地域探訪学習の推進…「六所の集い」の計画と実践
 - ・ササユリ生育のための環境整備
 - ・学校畑を利用した野菜栽培
 - ・花と緑の豊かな学校環境整備
 - ・校内整備…校内整備員による樹木の剪定や草取りなどの環境整備
- 少人数（全校36名）のよさを生かした活動の推進
 - ・縦割り活動を軸とした温かい人間関係づくり…心の相談員による支援
 - ・読書に親しむことによる心の教育…保護者や地域の方による読み聞かせ

4 成果と課題

- 春と冬の二度の探鳥会や1月から行われている冬の愛鳥週間での学習を通して、通学路や校内で鳥を見かけたり鳴き声が聞こえたりすると「ヒヨドリが鳴いているね」「セグロセキレイが運動場にいたよ」など、日々の生活の中で子どもたちの会話に鳥の話題が出ている。
- 古美山園地や校内で地域講師と一緒にササユリの保護活動をしたり、学んだことを下級生に発表したりする活動を通して、「後輩たちにもこの活動を続けてもらい、もっとササユリが咲く豊松小学校にしたい」という願いをもつなど、環境保護の意識を高めることができた。
- 今年度の六所の集いは坂上・石楠地区の学習をした。事前に高学年が地域講師から学んだ安全寺や六所神社、棒の手のことなどを調べてクイズを作り、当日下級生や保護者に発表することができた。多くの保護者から「近くに住んでいても知らない場所があり、今度家族で行ってみたい」「棒の手の演技は迫力があり素敵だった」等の感想が聞かれ、地域のよさを再発見できたことが分かった。
- 校内整備員を年間384時間配置し、校内の草刈りや樹木の剪定などの作業を積極的に進めたので、美しい環境を整えることができるようになってきた。しかし、整備箇所が多いわりに時間数が少ないため、公務手や管理職、地域ボランティアを募って行っているが、常に整備されている状態にするのは難しい。
- 心の相談員を配置したことで、心に不安を抱えている子どもへの相談活動や居場所づくりを行うことができた。また、年に18回行っている読み聞かせを子どもたちは毎回楽しみにしており「今回読んでもらった本が図書館にもあった」「今日読んでもらった本を家でお母さんにも読んでもらおう」など読み聞かせ後にも読書に親しむ姿が見られるようになった。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- 「特色ある学校づくり推進事業通信」を計7回発行し、ホームページに掲載して情報発信に努めた。
- 特色ある学校づくり推進事業に関わる行事（六所の集い）を全校、教職員、保護者、地域の方の協力を得て実施した。
- 学校だよりで学年の取組を紹介したり、学校運営協議会で特色ある学校づくり推進事業の活動の様子を報告したりした。